

明治国際医療大学京都桂川鍼灸院

「美・癒・健」 *mythos 361* 2015年春 開設
ミュトス サンロクイチ

2015年春、イオンモール京都桂川(京都市南区)の1階メディカルモール内に本学附属の鍼灸院「美・癒・健」mythos361(ミュトス サンロクイチ)を開設する運びとなりました。本院は、「鍼灸」を体験されたことのない方や気軽に治療を受けたい方に対し、鍼灸の良さを知ってもらうために大型商業施設内で開業します。「治療」だけでなく、「健康」、「癒し」、「美容」をテーマに大学プロデュースならではの安心・安全・質の高いサービスで近隣住民の方々の健やかな暮らしや周辺企業の方々の健康管理を支援していきます。



イオンモール京都桂川とは!
2014年10月に京都市南区と向日市に跨る大型ショッピングセンターとして開業した京都府最大の商業施設。JR桂川駅に隣接するとともに阪急電鉄洛西口駅からも約300mの至極便利な位置にあり、年間1500万人の利用が見込まれています。

- 4 April**
 - 入学式
 - オリエンテーション
- 5 May**
 - 看護の日
 - 卒業祭
 - 全日本鍼灸学会学術大会
 - オープンキャンパス
- 6 June**
 - オープンキャンパス
 - 学内軟式野球大会
- 7 July**
 - オープンキャンパス
 - 前期末試験
 - キャリア教育講演会
 - (卒業生講演会)
- 8 August**
 - 夏季休暇
 - オープンキャンパス
- 9 September**
 - オープンキャンパス



明治国際医療大学

鍼灸学部【鍼灸学科】* 保健医療学部【柔道整復学科】* 看護学部【看護学科】* 大学院【鍼灸学研究科】

〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1183 FAX 0771-72-1189

E-mail gakusei-shien@mst.meiji-u.ac.jp

明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine News Letter Vol.10

大学情報誌



卒業おめでとうございます!

Graduation Ceremony & Party

平成26年度卒業式・学位授与式が3月13日(金)に執り行われ、146名の学生達が新たな未来に向かって一歩を踏み出しました。当日は晴天に恵まれ、式典では岩井学長より一人ひとり呼名のうえ、学位記が手渡されました。みなさん少し緊張した様子で登壇していましたが、学位記を手に持って降壇する時は、少し笑みを浮かべ、心に残る卒業式になったことと思います。

成績優秀者 各賞発表

- | | |
|-----------------|---------------|
| 学長賞 | 野田 美穂(鍼灸学部) |
| 学長賞 | 沢村 卓也(保健医療学部) |
| 学長賞 | 福岡真理子(看護学部) |
| 全日本鍼灸学会会長表彰 | 柿沼恵理子 |
| 日本鍼灸師会賞 | 上林紗也果 |
| 日本柔道整復接骨医学会賞 | 内藤 綾乃 |
| 日本柔道整復師会会長表彰 | 吉村知愛子 |
| 日本私立看護系大学協会会長表彰 | 大隅 侑子 |
| 京都府看護協会花束贈呈 | 小村 龍 |
| 答辞 | 宇仁田明奈(鍼灸学部) |



卒業記念パーティー

卒業式終了後、「京都プライトンホテル」において、卒業記念パーティーが開催されました。4年間大学生活を共に過ごした仲間達や、お世話になった教職員の先生方と大いに盛り上がり、たくさん写真を撮り、楽しいひと時を過ごしました。また、この1年間、国家試験勉強で忙しい中、卒業記念パーティーの企画、卒業アルバム制作に尽力した、各学部の委員の皆様、本当にお疲れ様でした。



はじめまして! 私たち、 明治国際医療大学 学生FDサークル「くれぱす。」です!

「くれぱす。」って何もん?

学生FDサークル「くれぱす。」は、明治国際医療大学をもっと楽しいところになりたい!という理念で活動しています。実は奥深い学生FD活動ですが、「くれぱす。」ではそんな小難しい事は抜きにして、色々なことに挑戦しようと奮闘中です。現在は男女5人で活動しており、京都産業大学で開催された「学生FDサミット2014夏」に参加したり、大学行事のお手伝いをしています。

みんな大学で何しているの?どこにいるの?

緑豊かな自然に囲まれた明治国際医療大学。ご存知のとおり、大学周辺には気軽に遊びに行ける場所が多くありません。都会とかけ離れた環境にある大学生は、毎日何をしていますのでしょうか?今回「くれぱす。」は、講義以外の時間にどのような場所で、どのように過ごしているのか、学生のたまり場を紹介させていただきます。

カフェテリア:MUTUAL

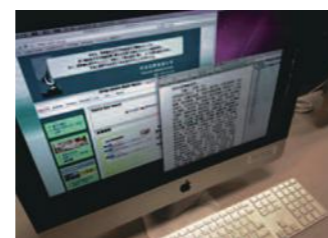
「集合場所の代名詞」と言っても過言ではありません。とりえず何かあったら「じゃあカフェテリアで!」って感じ。10号館の売店に隣接した広いカフェテリアは、勉強する人や友達とのおしゃべりに花を咲かす人、先生との勉強会などが行われたりもしています。もちろん学生だけでなく、大学や附属病院を訪れた人が一息ついていることもあり、様々な人が色々な使い方をしています。

運動施設(グラウンド・トレーニングルームなど)

クラブ活動やサークル活動に力を入れる学生に対して、学内施設も充実しています。タータンをひいたグラウンド、また、体育館には柔道場やトレーニングルームがあり、シャワールームも完備しています。トレーニングルームでは、ダイエットに励む先生や職員が訪れたりもしています。

情報メディア教室(通称パソコンルーム)

8号館のパソコンルームに設置されているパソコンは、全てMacとなっています。新入生の大半は、初めて触れるMacに戸惑いますが、次第に意のままに操れるようになり、卒業する頃にはWindowsとMacどちらも使える、ちょっとカッコいい人になっています。なんでMacなの?と思う学生もいますが、理由があり、医療従事者が扱うパソコンはMacが多いのです。従って、卒業生のほとんどが医療人になり、現場であたふたしなくてもいいようにMacを採用しています。



2015年度始動!! スポーツ振興プロジェクト

2015年度よりスポーツ振興事業として、医療大学である本学でしか出来ないトップアスリートの育成とスポーツ医療人の育成を目指したプロジェクトがスタートします。「陸上競技部」、「女子サッカー部」、「バレーボール部」、「女子剣道部」を強化指定クラブに認定し、自然豊かな郊外の立地で、充実した施設・設備を活かし競技力向上、また「はり師・きゅう師」、「柔道整復師」の国家資格やアスレチックトレーナー等のスポーツ関係資格取得を目指し、医療知識を深めていきます。また、医療現場に従事する専門スタッフが万全の体制でケガの予防や治療など日々のコンディショニングをサポートしますのでスポーツ医療を最前線で感じられると同時に、安心してパフォーマンス向上に努めることができます。この恵まれた環境をフルに活用してスポーツ、そして医療の世界において全国、また世界へ羽ばたく優秀な人材が育ってくれることを願っております。



第37回 たには祭

今年で37回目を迎えた、明治国際医療大学祭「たには祭」が、去る10月18日(土)～19日(日)の間で開催されました。第37回たには祭実行委員長の松島誠志君(鍼灸学部2年)の開会宣言に始まり、当日は晴天に恵まれ、学生達の屋台も大いに賑わっていました。今回のゲストは、よしもと芸人さん(和牛さん、プリマ旦那さん)、園部吹奏楽団の皆様、地域のダンスチームBEAT BOX、ご当地アイドル「南丹娘」さんにお越しいただきました。また、例年大盛り上がりK-1(カラオケ)グランプリは、機械トラブル等もありましたが、たには委員による速やかなスケジュール変更により、無事開催することができ、鍼灸学部3年の杉田走君が見事優勝しました。



全学生対象 倫理講習会を開催しました



医療人を目指す者として必要な倫理観や関係法規の学修を目的として、1月7日(水)に全学生を対象とした倫理講習会を実施いたしました。当日は雪が積もる中、正月休み明けにも拘わらず、約450名の学生が受講しました。講師として、本学非常勤臨床心理士の橋本貴美子先生と法規関係の講義を担当いただいている非常勤講師の坂部昌明先生(鍼灸学部OB)を迎え、参加学生は真剣に聞いており、大変有意義な講習となったことから、次年度以降も継続して開催する予定としています。

学内無線LAN接続 サービスを開始しました

明治国際医療大学では、全学的に「無線LAN接続サービス」を昨年10月より開始しました。無線LAN規格に対応したスマートフォン、タブレット、ノートパソコンなどの端末で接続することができます。無線LANを使うことによって、インターネットへの接続が容易になり、ホームページの閲覧はもろろんのこと、「学修支援システム」で、大学からの情報をリアルタイムで得ることができ、シラバスの閲覧、試験の合否確認、履修登録がスムーズにできるなど、学修の利便性が向上しました。

学生インタビュー

1年を振り返って 昨年1年間も、色々なことがありました。学生の皆さんにとってはどんな1年だったのでしょうか？4名の方に、インタビューにご協力いただきました！



1年生
島村さん

どんな1年でしたか？
初めての1人暮らしで、家事と勉強の両立が大変でした。両親と姉2人が西洋医学を学んでいるので、東洋の診断学が面白いらしく、帰省した時には、その話で盛り上がりました。友達とは、バスケットをしたり、夜まで一緒に勉強したりして、とても楽しく過ごすことができました。

大学生活で頑張ったこと
家族から聞いていた西洋医学の知識をリセットして、東洋医学を一から勉強するのが大変でした。

今年、頑張りたいこと
車の免許を、友達と一緒にとることを計画中です。単位もしっかり取ります！

どんな1年でしたか？
たには祭に委員長として参加したことが印象に残っています。大変な事もありましたが、他学年、他学部と協力して、たには祭を成功させられたことは、自分にとっても成長につながりました。

大学生活で頑張ったこと
たには祭中心の1年でした。準備期間がテスト期間と重なっている所もあり、頑張りました。両方とも無事に終わって、今はほっとしています。

プライベートで印象に残ったこと
2年になって、嵐山や金閣寺などを観光し、京都を楽しむことができました。



2年生
松島くん

どんな1年でしたか？
温泉巡りが好きで、春に取得した車の免許で、色々な所に行きました。また、その旅行の資金のために、勉強と併せて、バイトも頑張りました。

大学生活で頑張ったこと
3年生は鍼灸センターで臨床実習もあり、とても勉強になりました。今はとにかく、国家試験の勉強を頑張っています。

プライベートで頑張ったこと
友達から遊びに誘われたら、必ず行くようにして、全力で楽しみました。また、年明けからは食事にも気を使って、自分で作るようにしています。



3年生
垣本さん

どんな1年でしたか？
はり師・きゅう師の国家資格を取り、鍼灸師として患者さんに治療をして、笑顔で帰って行かれるのを見ると、改めて、充実した1年であったと感じます。実習では伊藤先生が特に印象的で、患者さんとの信頼関係や治療技術など、大きな衝撃を受けました。

大学生活で頑張ったこと
和辻先生のゼミで、友達と一緒に頑張りました。その中で、将来の目標や夢など、色々な話をしたことが印象に残っています。

今年の目標
来年度から大学院生になります。将来は教育に関する仕事につきたいと考えており、大学院でも一生懸命頑張りたいと思います。



4年生
石川くん

いざ実践現場&自分の学びを深める

保健医療学部では、3年次から病院やスポーツ現場での実習が始まります。スポーツ実習ではサッカーリーグやマラソン大会、スキー場など様々な場所での応急処置やケア活動を行います。後期には自分の興味を追究するための卒業研究が始まります。今回は、スキー場での応急処置実習と卒業研究を行うゼミについて、少しご紹介します。

スポーツ外傷応急処置実習 (スキー場実習)

スキー場(兵庫県神鍋高原 万場スキー場)の協力を得て、グレンデ横にブースを設置し、スキーやスノーボードで受傷された患者さんに対して保健医療学部の教員が治療・施術を行います。学生は、実際にそれらの患者さんに問診、治療・施術の補助、ストレッチングなどを行っていただきます。宿泊先では、その日に遭遇した傷害に対して、教員と学生でカンファレンスをして、実習終了後、レポートを完成させます。



保健医療学部3年生 井田 佑二郎くん



ブース内での実習風景

夕食後、宿舎でカンファレンスも行います。

今回2泊3日のスキー場実習の中で実際の患者さんに対して、主にストレッチングなどの施術を行いました。患者さんを目の前にすると、とても緊張しましたが、引率の先生方に言葉をかけてもらい、落ち着いて施術をすることができました。この実習を通して、問診、徒手検査、治療の流れ、時間配分、患者さんとの適切なコミュニケーションなどについて学ぶことができました。また、1日中、同じ目標に向かう仲間と勉学に励むことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。この実習で受けた多くの刺激を胸に、残りの大学生活でさらなるステップアップを目指します。そして、この大切な経験を将来に活かしていきたいと思っています。

京都丹波ロードレースでのスポーツケア実習

本学、保健医療学部では、京都丹波ロードレース(マラソン大会)にて、スポーツケアブースを設置し、参加選手へのケア(ストレッチング、ウォーミングアップジェル塗布、アイシング)を行っています。多くの参加者に好評を得ています。

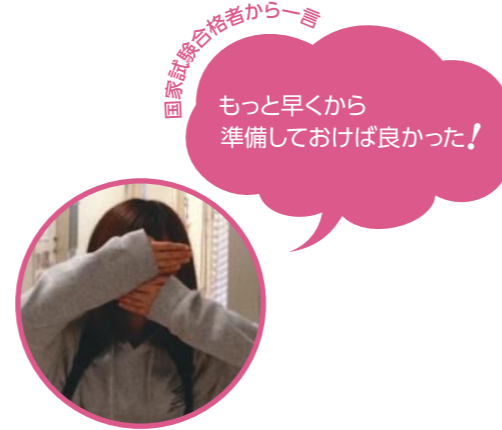


保健医療学部3年生 中村 賢紀くん

「マラソン実習を経て」
11/3日に開催された丹波ロードレースで、私はランナーの方々にウォーミングアップジェルの塗布とアイシングを行いました。当日は雨が降ったため、アイシング中は選手が冷え過ぎないように毛布等で保温しました。レース中に降り出したことで気温が下がり、雨に濡れた選手の方々にとって過酷な環境下だったと思います。実習を通して、冬場のレースでは、早めの水分補給、酷使した部位へのケア、冷えによる低体温症の予防を行うことが重要だと感じました。

入学前から卒業までいつも先輩と一緒に

卒業式



放課後



新入生オリエンテーション



オープンキャンパス



たには祭



入学式



インスティテューショナル・リサーチ(IR)で大学の未来を拓く。



最近、ビッグデータという言葉をよく耳にします。日常の何気ない生活の中で生じる様々なデータを集めて大きなデータの塊として捉え、統計学を利用してデータの中から一定の傾向を見つけ出す方法です。おむつを買う人はよく缶ビールを一緒に買うという話や、手術をした場合に十分に痛みを取り除くと退院が早まるなどといった事例が有名です。

大学でも様々なデータが生じます。学生の方々の出席、テスト結果、就職関連の情報など、その種類は多岐にわたります。これらは日々蓄積されるもので、うまく活用すれば宝の山ともいえます。

「大学に関わるビッグデータを詳しく分析して、学生のみなさまへの支援と教育の改善につなげられないだろうか。」
そのような想いから、本学では平成25年度よりビッグデータの収集と蓄積、統計学を使った分析を始めました。大学でのこのような活動をインスティテューショナル・リサーチ(IR)といいます。平成26年度にはIRにおける優れた着眼点が評価され、競争的資金である未来経営戦略推進経費の採択を受けました。この助成を活用して、本格的なIR活動を行っています。入学直後の学生サポート、国家試験、就職状況など幅広い分野に対して、データを活用した大学改善を進めて参ります。

